

I. 今年度の取組と自己評価

○…成果	課題…▼
A…達成	B…概ね達成 C…未達成

(I) 教育活動への取組と自己評価

① 学力向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- ▼保護者アンケートでは、「学習用端末の利用について、他の小学校より利用頻度が少ない気がする」といった意見をいただいた。朝学習でタブレットを活用した「my 学習カード」の一層の活用と周知、校内研究会での検討項目としていく。
- 八王子市学力定着度調査（4～6年生）の結果から、すべての学年で市平均を上回る結果となった。特に6年生は昨年度、市平均を下回っており、地道な基礎学力向上への取組が成果に結びついたと考えられる。また、学年によってD層が14%～20%（D層平均…17%）の範囲で見られた。（昨年度のD層平均…20%）一定の成果が見られているが、今後も基礎学力の向上をさらに進めていく。
- 保護者アンケートの「授業や学校行事への指導」を問う設問では、92%の肯定的評価（前年比△1%）となった。否定的評価1%、わからない7%を減らす努力をしていくことが課題である。
- 「家庭学習の習慣化」を図るため、各学年で工夫した取組（自主学習カード、ドリル学習の活用）が実践できた。
- 保護者アンケートの「授業での発問や指導の工夫、ICT機器の活用」という設問の肯定的評価が89%（前年比△1%）となった。家庭学習でのICT機器の活用を検討し、進めていく。
- 保護者アンケートの「子どもの学習に対する評価は適切・公平である」という設問の肯定的評価が89%（前年比△2%）と増加した。
- 学校運営協議会が主体となった放課後学習支援教室（るり丸教室）を週2回実施し、学習習慣の定着や基礎学力向上を図ることができた。来年度は週3回実施していく予定である。

② 健全な心身の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- ▼保護者アンケートの「いじめを許さない学校づくりへの取組」という設問の肯定的評価が82%（前年比▼2%）となった。否定的評価6%、わからない12%を減らしていくことが課題である。
- 6年生を中心にあいさつや返事のできる子が増え、下学年にも浸透し始めている。この流れを来年度に繋げるとともに、「すすんであいさつする子」への取組も来年度に向けて、実践していくことが重要である。
- SNSルールの徹底を図る取組として「第一小 SNS ルール」の見直しを図るとともに、「第一小 SNS 家庭ルール」の作成と提出を、家庭と連携して実施できた。70%の提出率目標を上回る84%の提出率となった。
- 保護者アンケートの「道徳教育を含めた教育活動での自尊感情の醸成」という設問では肯定的評価が91%（前年比△2%）となった。否定的評価1%、わからない8%を減らしていくことが課題である。

- 保護者アンケートの「規範意識の醸成」を問う設問では肯定的評価が93%（前年比△1%）となった。否定的評価3%、わからない4%を減らしていく。
- 各学級において、C4thのメール機能を使い、欠席児童家庭への情報連絡をこまめに行うことができた。
- 不登校児童、心配事のある児童への対応では、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）と連携し、対応を図れた。

③ 特色ある学校づくりの実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- 保護者アンケートの「学習環境整備への取組」という設問では肯定的評価が85%（前年比△8%）となった。夏の暑さ対策については施設の古さもあり、課題であったが配電盤の新規取り換え工事による改善、学習時の体育館空調使用、校舎外壁塗装工事の完了などを行えた。来年度は民間プール施設を活用した取り組みも行っていく。
また、今後も引き続き、正門に通じる通学路の「ガードレール設置」を要望していく。
- 環境教育・食育・福祉教育・租税教育・健康教育は予定通り実施できた。食育に関する栄養指導を全学年全学級で実施した。（前年度2学年で実施）
- 読書指導の充実として、語り部の会を活用した昔語りを実施できた。また、学校司書に依頼し、「姉妹都市記念コーナー」の設置、図書ボランティアによる図書室の環境整備を図れた。
- 教職員の働き方改革として、自動応答機の設置、通知表の見直しを図ることができた。

④ 信頼される学校づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- サービスの厳正については、大きな事故もなく達成できた。
- サービス事故防止研修については、年3回の研修会に加え、職員会議等を利用して、日常指導の徹底を図れた。
- LAS—E研修についても実践し、校内の節電、節水等に努めた。
- 私費会計を口座振替とし、サービス事故防止、働き方改革に努めた。

⑤ 開かれた学校づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- ▲保護者アンケートでは、学校だよりと学級・学年だよりで時数の誤表記を指摘いただいた。文書決済でのチェック機能をしかりと行っていく。
- 家庭との連携を充実させるため、ホームページ、学級だより等による積極的な情報発信を行った。保護者アンケートの「情報提供」を問う設問の肯定的評価は98%（前年比△3%）であった。ホームページの更新率でも、常時、市内5位以内をキープした。来年度もこまめな更新を行っていく。
- 保護者アンケートの「小中一貫教育への取組」という設問では肯定的評価が82%（前年比△7%）と増加した。小中の連携事業も大幅に増えた。（体育祭・運動会参加、作品展交流など）今後も小中一貫教育の取組を積極的に進めていくとともに、保護者・地域への周知を行っていく。
- 学校公開については、授業公開、運動会、アートフェスティバルとほぼ通常通りに実施した。来年度は体育的行事、学芸的行事の一層の改善を図っていく。

⑥ 組織的な学校経営を進める・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- 学校経営者会議（企画会議）では、経営課題を中心に管理職・主幹教諭等で情報共有を図りながら、臨機応変に対応策を講じることができた。

○学校運営協議会委員と全教員が顔を合わせる機会を設けた。(2回、前年比△1)、保護者や地域のニーズの情報交換を図り、指導の充実につなげられた。

(2) 重点目標への取組と自己評価・・・・・・・・・・総合 B

- ①各教科・・・・・・・・・・ B
- ②道徳教育の充実・・・・・・・・ B
- ③外国語活動・・・・・・・・ B
- ④総合的な学習・・・・・・・・ B
- ⑤特別活動・・・・・・・・ B
- ⑥小中一貫教育・・・・・・・・ B
- ⑦学校からの情報発信・・・・・・・・ A